

平成24年度文化施設運営協議会会議録

日 時：平成25年3月26日（火）午後2時～4時

場 所：鴨川市文化財センター学習室

出席者：鈴木進 松本健一 尾高幸二 松本和子 鈴木啓治

滝口巖委員欠席

教育委員会 教育長野田純

生涯学習課長・文化振興室長 黒野雅典

生涯学習課文化振興室 郷土資料館長千葉和也 主査石川丈夫 副主査松井富子

副主査高橋誠

1. 開 会 司会 事務局

2. あいさつ 野田教育長

所用により教育長退席

3. 議 事

議事に先立ち、会長・副会長の選任が行われた。

委員の互選により、会長は滝口委員、副会長は鈴木進委員が選ばれた。

会長が欠席のため、鈴木進副会長が議長となり、会議次第に沿って審議が進められた。

議事録の署名人については、松本健一委員が指名された。

(1) 報告

○平成24年度事業報告及び利用状況について

- ・会議資料及び添付資料に基づいて事務局から説明を行い、各委員からの意見を伺う。

◎質疑応答

○横山大観展は実際に見学したが、大変良かった。体育館に飾られていたという割には保存状態もよく、大事に保管してもらいたいが、よいものなので今後の展示や保存などの計画はどうなっているのか（議長）

・日本画は光に弱く、展示する際も照度計を用い、細心の注意を払った。幸いにも「暗い」というような苦情はなかった。保存状態を維持するためには常設は難しく、保全と公開のバランスをとりつつ、なるべく市民の目にふれさせるような活用を図りたい。（事務局）

○平成22年度が突出して入館者が増えている。伊八展の影響でよいのか。（松本健）

・伊八展は、平成22年度、平成23年度と実施し、例年になく入館者となっている。同じく伊八展を開催しながら平成23年度の入館者が少ないのは、城西国際大学のフレッシュマンセミナーが諸事情から来館しなかったことによるもの。（事務局）

○伊八展を開催する以前、平成20・21年度と比べても、平成24年度も入館者数は多い。内容的にも興味を持ってもらえるものとしている。少ないスタッフの中でよくやっていると思うし、展示事業については、今後も継続して実施してもらいたい。(松本健)

○スタッフは努力していると思う。ただ展示だけではなくて体験なども取り入れ、工夫をこらしている。鑑賞ツアーも企画していたが、外に出て行っているいろいろなものを取り入れていくのがいいのではないか。(鈴木啓)

・市民からの提案により、昨年文化芸術鑑賞ツアーを初めて実施した。広報掲載直後に定員となり、かなりの人気だった。これからは提案した方と一緒に企画していく予定で、毎年度実施していければよいと考えている。(事務局)

○例えば、伊八を開催したら柴又帝釈天の作品を見に行くなど、展覧会に沿った内容もよいのではないか。(鈴木啓)

・公民館にも似たような講座がある。特色ある内容にしていきたい。(事務局)

○公民館ではできないことをしてもらいたい。専門的で、深い内容、ニーズにあったものを検討してもらいたい。(鈴木啓)

○公民館の講座はかなり人気がある。ただ、時間制限もあるし、好みにそっていろいろなものを見る。専門色を出していき、一つのところを重点的に見るのもいいのではないか。(鈴木進)

・公民館にも講座などで解説をしている。それらのニーズに合わせた内容にして、質的に高めていきたい。(事務局)

(2) 議案第1号

○平成25年度事業計画(案)について

・会議資料に基づいて事務局から説明を行う。

◎ 質疑応答

○絵手紙教室が予定されているが、講師は誰か。落款・判子を使っているのか。それ(落款の印)の製作教室の開催はどうだろうか。(尾高)

・講師は、精美堂の福島氏。落款などは使用しない簡易な内容になっている。落款については、中々指導できる人がなく、今後の検討課題でもある。(事務局)

○定期的なものと特別に開催するもののバランスが取れていると思う。定期的なものもマンネリ化に配慮している。その他、千樫と左千夫の合同展など、他館との合同展を検討したらどうか。(鈴木啓)

・他館との合同展については綿密な打ち合わせとスケジュールなどの計画が必要。目標として検討していく。定期的に行われている室内の打ち合わせにおいても意見交換はされており、他館とも学芸員・研究員との情報交換は行われている。(事務局)

○御開帳の際、見学の可否やルートを紹介などはどうなっているのか。(松本和)

・御開帳については奉賛会、イベントについてはみなとまつり実行委員会が組織されている。それらからの情報では、一般の方の参拝も可能である。(事務局)

○船橋は実施するのか。また渡れるのか。(議長)

・設置するが、渡れないとのこと。(事務局)

○長狭高で美術顧問を永らく務めた本城正先生の作品はどれくらいあるのか。あれば、展覧会を検討してもよいのではないか。(尾高)

・過去に有志で展覧会を開催しているようだが、作品がどのくらいあって、誰が所有しているかは把握していない。市では、数点所有し、各施設で展示している。(事務局)

○釜石の彫刻被災の例もあり、市民ギャラリーの防災・作品保管について検討してほしい。やはり海拔20メートル以上のところで保管してもらいたい。(鈴木啓)

・社会教育、文化施設、学校等を含め全体的な計画をもって検討する時期にきていると思う。確かにギャラリーは低い位置にあり、老朽化も激しいが、しばらくは現状維持となる。(事務局)

・まちづくりの一環として進めていってほしい(議長)

○貴重な意見をいただいたが、ここで平成24年度事業報告(案)を承認するか否かについて採決を取りたい。承認に賛成の委員は挙手をお願いしたい。(議長)

五名の委員全員の挙手を確認

・委員全員の賛成をいただいたので、平成25年度事業計画案は承認された。以上で議事を終了する。(議長)

5. 閉会 事務局

以上で平成24年度文化施設運営協議会の会議を終了する。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

平成25年4月4日

会議録署名人 松本 建一